

## 第4編 公園編

### 1章 公園植栽工

# 1 章 公園植栽工

1.1 公園植栽工

1.2 公園除草工

# 1章 公園植栽工

## 1.1 公園植栽工

### 1. 適用

公園の植栽作業及び移植作業に適用する。

### 2. 数量算出項目

植栽（植樹）、支柱、移植、地被類植付、張芝を区分ごとに算出する。

### 3. 区分

区分は、樹木の種類、支柱の種類、施工場所とする。

#### (1) 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	樹木種類	支柱種類	施工場所	単位	数量	備考
植栽（植樹）	○	×	○	本		
支柱	×	○	○	本・m		
移植	○	×	○	本		
地被類植付	○	×	○	鉢		
張芝	○	×	×	m <sup>2</sup>		

#### (2) 樹木の種類区分

植栽 (植樹) 移植	低木	樹高60cm未満
		樹高60cm以上100cm未満
	中木	樹高100cm以上200cm未満
		樹高200cm以上300cm未満
		高木
	幹周15cm以上25cm未満	
	幹周25cm以上40cm未満	
	幹周40cm以上60cm未満	
		幹周60cm以上90cm未満
地被類植付	各種	
張芝	各種	

注) 1. 低木には、株物、一本立ちを含む。

2. 高木とは樹高3m以上とする。また、幹周とは地際よりの高さ1.2mでの幹の周囲長とし幹が枝分かれ（株立樹木）している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。

3. 土壌改良材を使用する場合は、植栽（植樹）1本当たり土壌改良材使用量を算出すること。

4. 移植の場合は、根巻・幹巻の有無を区分する。また、運搬を伴う場合は、運搬距離（km）を算出する。

5. 植栽（植樹）及び移植に伴い、客土、埋戻土が別途必要な場合は、その数量を算出する。また、残土の搬出が必要な場合は残土量を算出する。

6. 地被類植付は下記の仕様に適用する。

- 1) ささ類、木草本類、つる性類でコンテナ径12cm以下
- 2) 高さ（長さ）60cm以下の地被類

7. 張芝は、芝種類の他、ベタ張・目地張等の施工方法、及び芝串の有無についても区分する。  
 なお、目地張を行う場合は、100m<sup>2</sup>当り芝使用量についても算出する。

(3) 支柱の種類区分

	区分	規格・仕様	単位	備考
支柱	中木	二脚鳥居 添木付 樹高250cm以上	本	
		八ッ掛（竹） 樹高100cm以上	本	
		添柱形（1本形・竹） 樹高100cm以上	本	
		布掛（竹） 樹高100cm以上	m	
		生垣形 樹高100cm以上	m	
	高木	二脚鳥居 添木付 幹周30cm未満	本	
		二脚鳥居 添木無 幹周20cm以上30cm未満	本	
		三脚鳥居 幹周30cm以上60cm未満	本	
		十字鳥居 幹周30cm以上60cm未満	本	
		二脚鳥居組合せ 幹周40cm以上75cm未満	本	
		八ッ掛（三脚）（竹） 幹周20cm未満	本	注) 2
		八ッ掛（丸太） L=4m 幹周20cm以上35cm未満	本	
		八ッ掛（丸太） L=6～7m 幹周30cm以上75cm未満	本	

- 注) 1. 単位「本」は、支柱を設置する樹木本数、「m」は、支柱設置延長を算出する。  
 2. 樹木1本当り竹（支柱材）必要量について算出する。

(4) 施工場所

植栽（植樹）、支柱、移植、地被類植付を日本庭園で施工する場合、区分して算出する。

## 1.2 公園除草工

### 1. 適用

公園の除草及び集草、積込・運搬に適用する。  
ただし、景観を重視し、かつ除草回数が1回/月を越える場合については適用除外とする。

### 2. 数量算出項目

公園除草の面積を算出する

### 3. 区分

区分は、作業内容とする。

#### (1) 数量算出項目区分一覧表

項目	区分	作業内容	施工場所	単位	単位	数量	備考
	公園除草	○	○	m <sup>2</sup>	本		

#### (2) 作業内容区分

除草の面積を作業内容（除草、抜根、集草、積込・運搬）ごとに区分して算出する。

### 4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

(1) 除草は施工場所毎に下記の工法に区分して算出する。

除草工法

- 人力除草
- 人力抜根
- 機械除草Ⅰ（肩掛式）
- 機械除草Ⅱ（ハンドガイド式+肩掛式）

(2) 公園外への運搬が必要な場合は、運搬路に応じて、運搬距離（片道）（km）を算出する。

5. 参考

除草工法の選定は、下記を標準とする。

工法の選定フロー

